

数学の学習を進めるにあたって(2年生)

◇授業の進め方

- 習熟度別の少人数授業となります。※少人数ではない時もあります。
- ① その日の学習内容(今日のめあて)を授業の最初に確認します。授業の最後には、次の授業の予定も伝えます。(授業の復習と予習を習慣にしましょう)
- ② 授業の持ち物は、教科書・ノート・ワーク・ファイルです。
(必要となる単元に入る際に指示を出します) 定規、単元によっては三角定規・コンパス
- ③ 見やすいノートにするために、色ペンや蛍光ペンを活用しましょう。
- ④ 先生の説明や友達の発言は、集中して聞き、大切なことはノートにメモをしましょう。
- ⑤ 問題を解く時も、集中して解きましょう。わからないことがあったら、質問をしてください。
- ⑥ 解ければそれでよいという授業姿勢ではなく、解き方の過程を大切にしましょう。なぜそのような解き方が良いのか、他の方法が無いかということなどを常に考えながら授業に臨みましょう。
- ⑦ ワークの提出があります。自分が取り組んだ過程(途中式など)を残しましょう。振り返った時に、自分自身の理解度をつかむための大切な材料です。
- ⑧ プリントが配られた際にはファイルにまとめましょう。
- ⑨ ノートやプリント類などの提出については、授業担当の先生の指示にしたがってください。

◇学習する上で注意してほしいこと

- ① 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
- ② 宿題・提出物は誠実に取り組み、必ず提出期限を守りましょう。家庭学習の評価を行います。
- ③ ノートは分かりやすく工夫してまとめましょう。
- ④ ノートには計算した結果のみを書くのではなく、途中の式を書くようにしましょう。
(間違えたとき、どこで間違えたかがわかり、次のときに同じ間違いをしないためにも大事なことです)
また、板書以外の口頭で説明した内容も、きちんとノートにメモを取るようにしましょう。
- ⑤ その日に習った学習の復習をする習慣をつけましょう。(宿題を出す場合もあります)。また、授業で解いた問題をもう一度自分で解けるか確認してみましょう。そのことにより、家庭学習の習慣が定着していきます。
- ⑥ 授業の学習内容がわからなかった場合、早めに質問をして解決していきましょう。

◇家庭学習の進め方

- ① その日に学習した内容をその日のうちに復習する習慣をつけましょう。
 - ・授業で解いた問題を確認し、もう一度解きなおします。
 - ・ワークを利用して、同様の問題にも取り組みます。
- ② 宿題が出された際には、提出期限に余裕をもって計画的に取り組ましましょう。

◇テスト前の学習

- ① 教科書・ノート・ワークを中心に、自分が理解できているかどうかを確認しましょう。
- ② 教科書の問題やワークは繰り返し解きましょう。間違えた問題やわからなかった問題は、解答をよく読み、それでも分からなければ質問をして理解しましょう。

◇1年間の学習内容

月		月	
4	第1章 式の計算 文字式を使って説明しよう <u>1節 式の計算</u> <u>2節 文字式の利用</u>	10	第4章 平行と合同 図形の性質の調べ方を考えよう <u>1節 説明のしくみ</u> <u>2節 平行線と角</u> <u>3節 合同な図形</u>
5	第2章 連立方程式 方程式を利用して問題を解決しよう <u>1節 連立方程式とその解き方</u> <u>2節 連立方程式の利用</u>	11	中間考査 期末考査
6	(夏休み明けテスト) 第3章 1次関数 関数を利用して問題を解決しよう <u>1節 1次関数</u> <u>2節 1次関数</u> の性質と調べ方 <u>3節 2元1次方程式と1次関数</u> <u>4節 1次関数の利用</u>	12	第5章 三角形と四角形 図形の性質を見つけて証明しよう <u>1節 三角形</u> <u>2節 平行四辺形</u>
7		1	(冬休み明けテスト) 第6章 確率 起こりやすさをとらえて説明しよう <u>1節 確率</u> <u>2節 確率による説明</u>
8		2	第7章 データの比較 データを比較して判断しよう <u>1節 四分位範囲と箱ひげ図</u>
9		3	2年生のまとめ 学年末考査

◇評価

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

*①②に関しては、主に定期考査、小テスト、等で評価します。
 ③は授業での取り組み、ノート、振り返り、等で評価します。